
2020年3月期 第1四半期 決算説明資料

2019年8月2日
株式会社セブン銀行

目次

決算ダイジェスト

2頁

損益状況 <連結>

3頁

損益状況 <セブン銀行>

4頁

ATMプラットフォーム事業 計数

5頁

決済口座事業 計数

6頁

損益状況 <FCTI>

7頁

米国ATM 計数

8頁

Topics

9,10頁

※決算発表資料は、当社Webサイトからもご覧いただくことができます。
(<https://www.sevenbank.co.jp/ir/library/presentation/>)

2019年度 第1四半期決算

連結

経常収益	368億円 (前年同期比+10億円)
経常利益	111億円 (" +11億円)

親会社株主に帰属する

四半期純利益	76億円 (前年同期比+11億円)
--------	-------------------

単体

経常収益	298億円 (前年同期比+1億円)
経常利益	113億円 (" △0億円)

四半期純利益	78億円 (前年同期比△0億円)
--------	------------------

連結：増収増益

- ・ FCTI社1Q黒字達成。収益へ貢献。

単体：経常収益は微増、経常利益は微減

- ・ 増収は確保、ATM利用件数は逡減傾向

Agenda

- ✓ 連結・単体共に業績はほぼ計画線で推移
- ✓ FCTI社は今後の収益安定化に向け、事業構造改善・業容の拡大に邁進
- ✓ 中期経営計画で掲げた、持続的成長に向けた施策を堅調に積上げ

■ 当第1四半期は、前年同期比 **増収増益**

(単位：億円)

	18年度 第1四半期	19年度 第1四半期	前年差異	19年度 計画
経常収益	358	368	10	1,489
経常費用	257	257	0	1,092
経常利益	100	111	11	397
純利益	65	76	11	267

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル：2018年度第1四半期 = 108.22円、2019年度第1四半期 = 110.22円、2019年度計画 = 110.00円

注4) 純利益は親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

■ 当第1四半期は、前年同期比 **経常収益は微増、経常利益は微減**

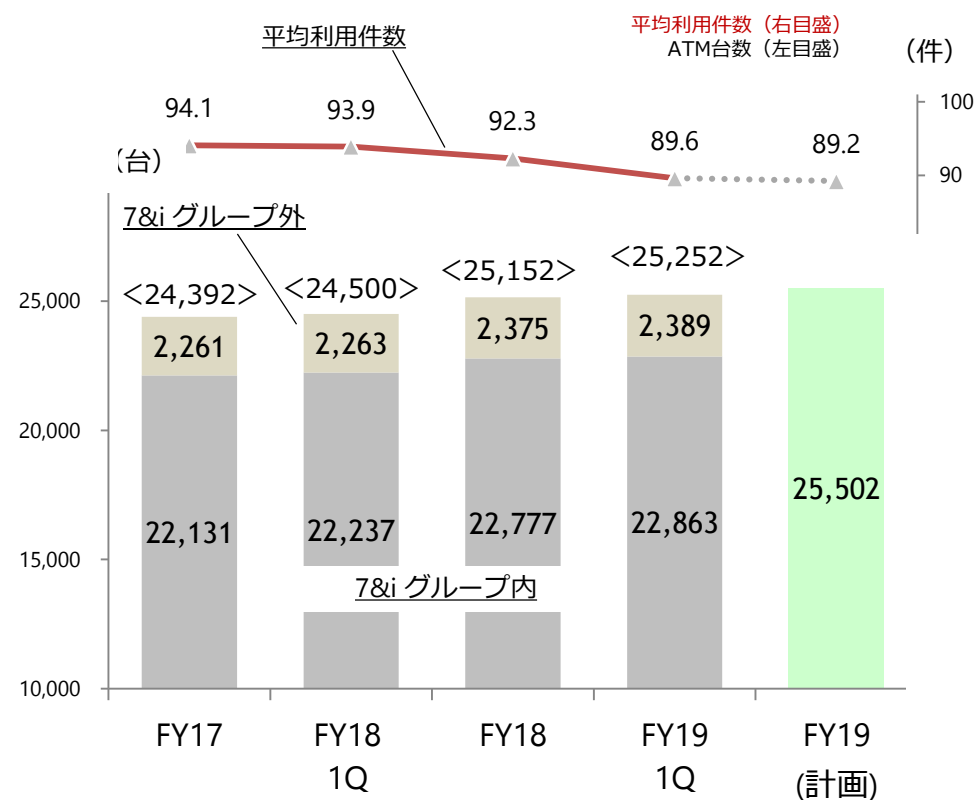
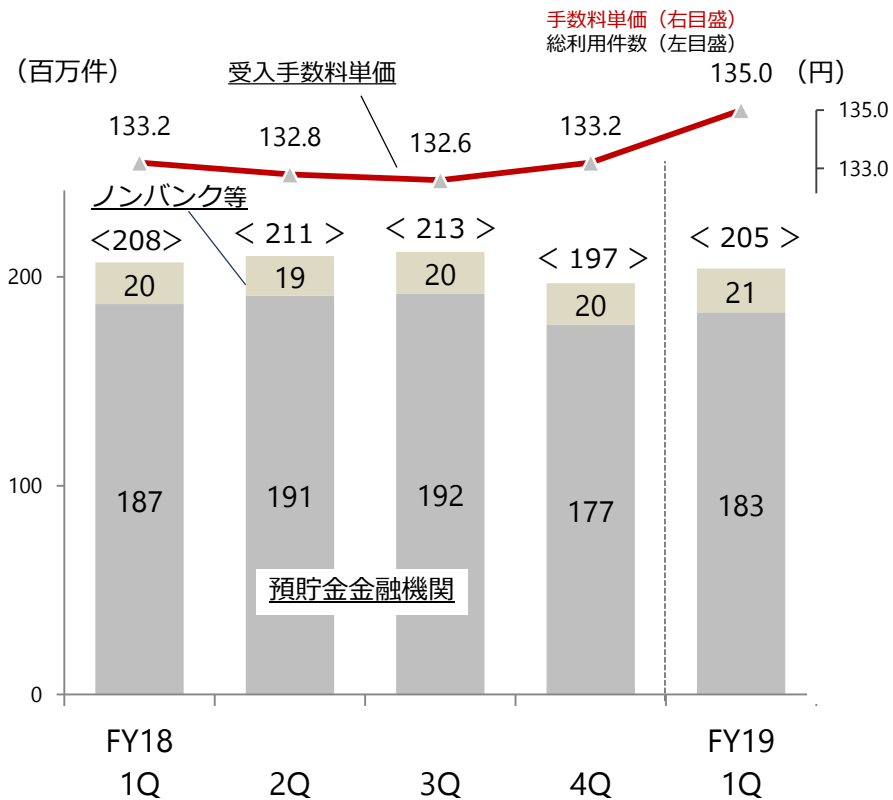
(単位：億円)

	18年度 第1四半期	19年度 第1四半期	前年差異	19年度 計画
経常収益	297	298	1	1,202
うちATM受入手数料	270	270	△0	1,075
経常費用	183	184	1	784
経常利益	113	113	△0	417
純利益	78	78	△0	289
EBITDA	152	148	△4	560
期末ATM設置台数 (台)	24,500	25,252	752	25,502
ATM受入手数料単価 (円)	133.2	135.0	1.8	134.0
平均利用件数 (件/台/日)	93.9	89.6	△4.3	89.2
総利用件数 (百万件)	208	205	△3	822

注) EBITDA = 経常利益 + 減価償却費

ATM利用件数と受入手数料単価の推移

ATM台数と平均利用件数の推移



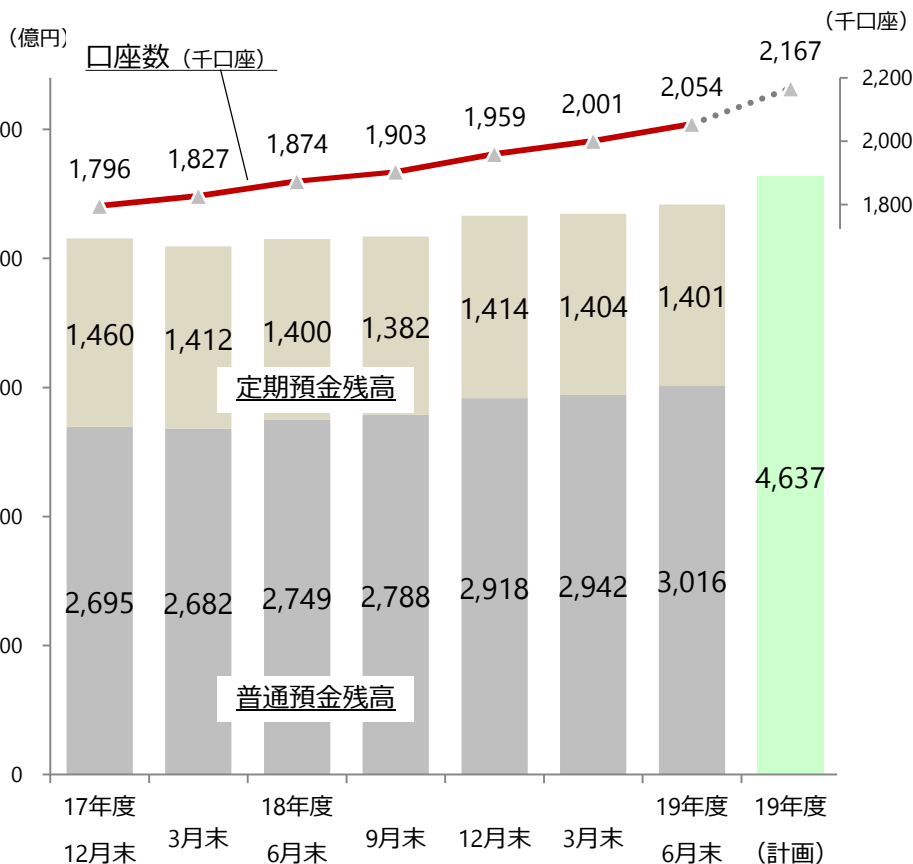
注1) 総利用件数、平均件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

注2) ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上入金等>)で算出

注3) 本資料におけるノンバンク等は、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、事業会社等の合計

- 一部提携金融機関のATM利用手数料有料化を主因に、ATM利用件数は苦戦
- ATM受入手数料単価は前年同期間比 +1.8円

口座数と預金残高（個人）



個人向けローン

	18年 6月末	19年 6月末	19年度 計画
期末残高 (億円)	228	228	250

海外送金サービス

	18年 4月～6月	19年 4月～6月	19年度 計画
取引件数 (千件)	272	291	1,225

デビットサービス

	18年 4月～6月	19年 4月～6月	19年度 計画
取引件数 (千件)	2,264	3,133	14,462

- ・ 口座数、預金残高は順調に拡大継続
- ・ 海外送金サービス、デビットサービスは計画線に推移

■ 当第1四半期は、前年同期比 **增收増益** **黒字達成**

(単位：百万\$)

	18年度 第1四半期 (2018/1-3)	19年度 第1四半期 (2019/1-3)	前年差異	19年度 通期計画
経常収益	55.8	63.4	7.6	255.4
経常費用	64.0	62.0	△2.0	253.8
経常利益	△8.2	1.3	9.5	1.6
純利益	△8.2	1.2	9.4	0.8
EBITDA	△1.8	3.0	4.8	9.0
期末ATM設置台数 (台)	13,412	12,374	△1,038	11,770
うちSEI設置台数	7,953	8,352	399	8,311
平均利用件数 (件/台/日)	31.2	41.7	10.5	45.0
うちSEI設置	43.0	55.0	12.0	57.2
総利用件数 (千件)	36,152	47,712	11,560	194,000

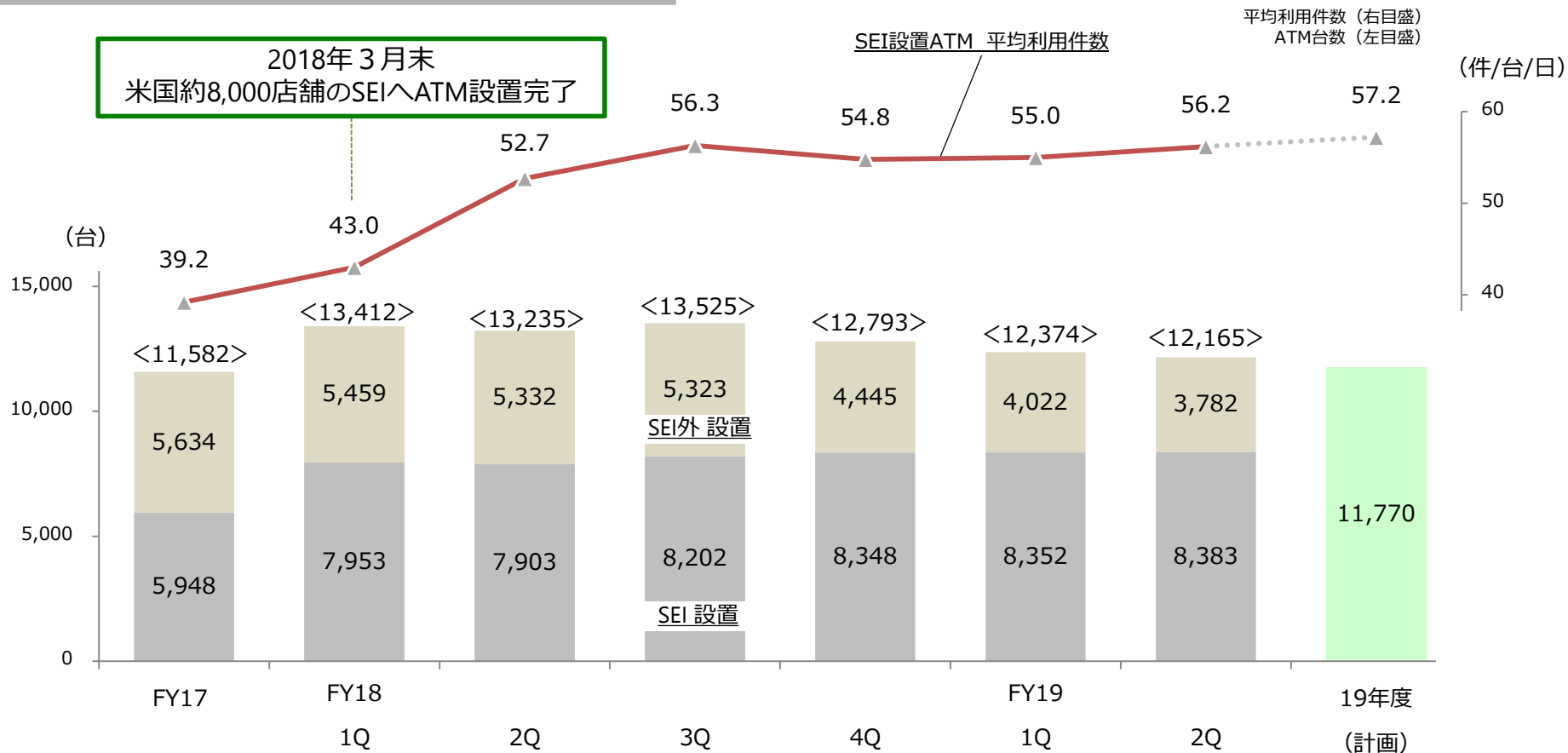
注1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む

注2) 2019年6月末時点のATM台数 = 12,165台 (速報値)

SEI内：8,383台

SEI外：自社保有 3,782台

ATM台数とSEI設置ATM 平均利用件数の推移



- SEI設置ATMの利用件数は堅調に増加
- 採算性の低いATMは整理、SEI設置ATMにリソースを集中し収益性強化を図る

注1) FY18 2Qより、Sunoco設置ATMを含む
注2) FY19 2Qは速報値

技術革新を取込み

カード
スマートフォン
ATM取引

ATM専用回線
新たな接続方法

ニーズに対応し進化



日本独自のキャッシュレス決済スタイル から生まれるATM利用ニーズ

2017年8月~

新決済事業者との 提携



2018年10月~

電子マネーチャージ 拡大



時代に即したATM利用機会の創出

ATMの新たな価値創造

中期経営計画 (2017年度-2019年度)

本業を伸ばしつつ事業の多角化を実現

■ 国内事業

ATMプラットフォーム事業 / 決済口座事業

金融機関等からの事務受託

(株) バンク・ビジネスファクトリー

法人から個人への支払いをATM受取

(株) セブン・ペイメントサービス

在日外国人向け金融サービスインフラを提供

国内連結子会社 (株) セブン・グローバルレミット

セキュリティ強化サービス

金融犯罪対策のノウハウを事業化

与信、投資、保険・・・

■ 海外事業

米国 FCTI

インドネシア

事業環境が変化、自社ATM運営を
事業の柱に、再度事業拡大を推進

ATMi

フィリピン

新規進出エリアの最有力候補として
具体的な検討段階へ移行

フィリピン連結子会社 Pito AxM Platform, Inc.

注) 下線は2020年3月期第1四半期中に新規設立した子会社

Copyright (c) 2019 Seven Bank, Ltd. All rights reserved. 10

本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATMプラットフォーム事業、決済口座事業及び海外事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。



セブン銀行